

# 整備効果① 京都府の南北高速道路軸の形成

別紙1

・新名神の城陽～八幡京田辺間の開通により、南北に長い**京都府の南端**(京奈和自動車道 木津IC)から**北端**(山陰近畿自動車道 京丹後大宮IC)までの約140kmが**高速道路**でつながります。

所要時間の短縮により物流が効率化

奈良県から京都府北部への輸送について、城陽～八幡京田辺間の開通により、ほぼ最短ルート**を高速道路を降りず効率的に運送することが可能になる**ので、**開通を非常に期待**しています。

出典: 企業ヒアリング調査 (運送会社)



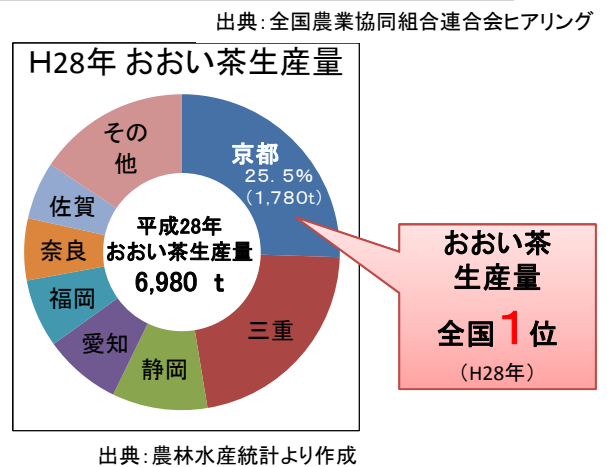
## 整備効果② 地域産業の活性化

別紙2

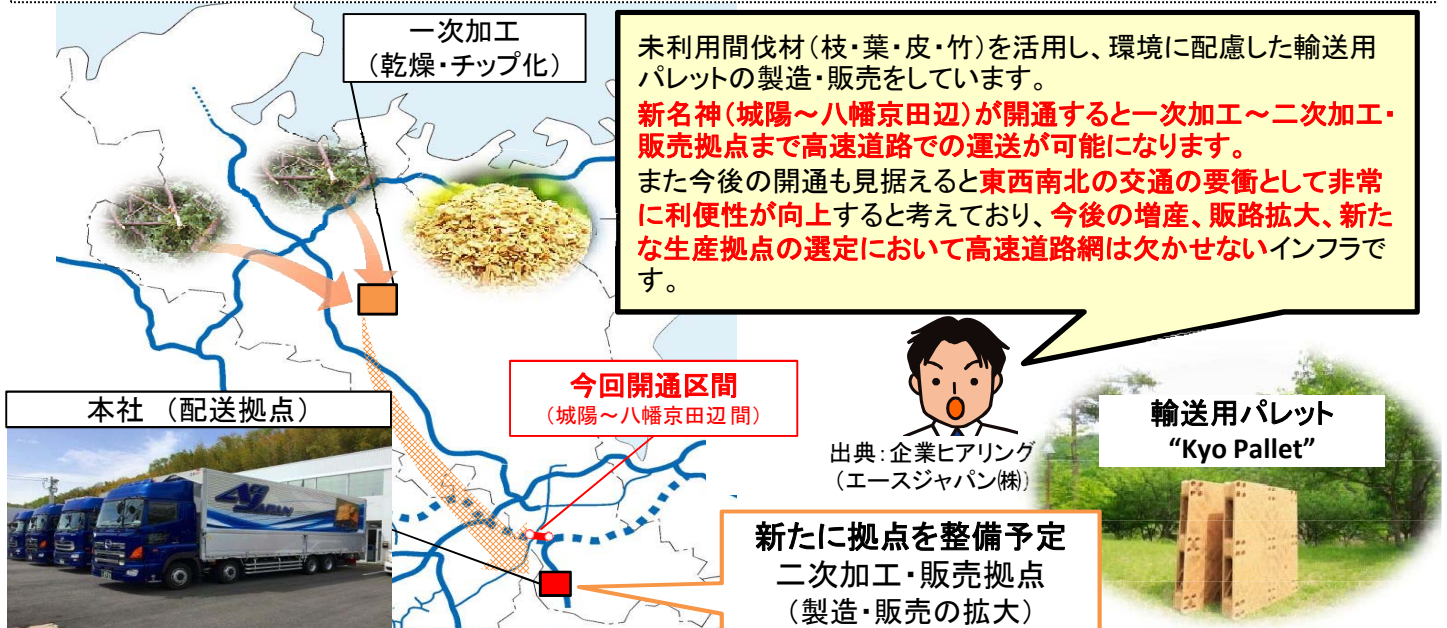
- ・京都府は茶葉の生産地として有名で、おおい茶においては全国1位(平成28年)の生産量を誇っています。
- ・京都府内で生産される茶葉は、城陽市にある京都茶市場へ出荷され、卸業者等により一般市場へ流通。城陽～八幡京田辺間の開通により出荷～流通の速達性が高まることが期待されます。



毎年春先に農家から出荷される一番茶は出荷時期により、価格に影響があります。当市場は京都府域全域の茶葉を取扱っており、京都北部方面からも出荷があります。新名神の城陽～八幡京田辺間が開通すると茶市場までの時間が短縮されることで、市場からの流通も早くなることが期待されます。



- ・地域活性化として地域林業と連携し、新たな環境への貢献を目指して、これまで使われなかった未利用間伐材を価値ある資源として活用しています。
- ・加工場、販売拠点まで高速道路での運送が可能となり、将来的には更に利便性が向上し、増産、販路拡大が期待されます。

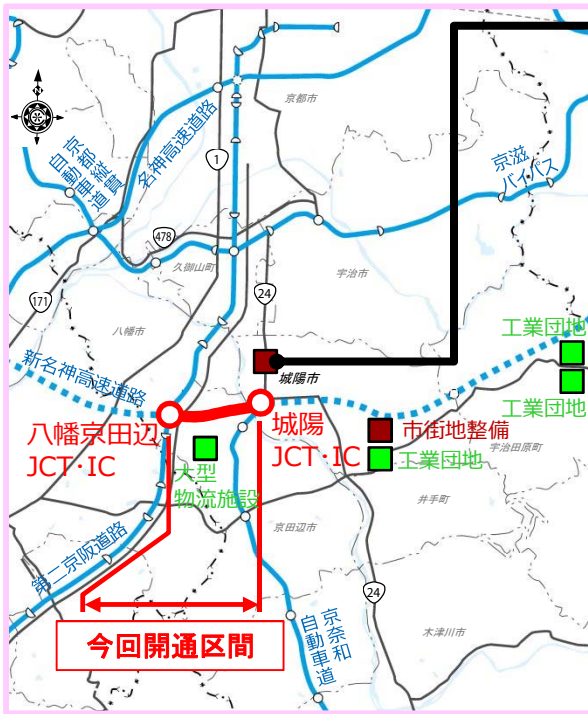


# 整備効果③ 物流・産業拠点の整備

・城陽JCT・ICの近傍では、新名神の開通に合わせて、物流や産業の新拠点として**新市街地整備事業が進められています。**

・IC直近の好立地条件で多くの企業進出が見込まれ、**新たな雇用を創出予定、税収増が期待されます。**

整備中のIC付近に開発や企業進出が続く



## 久世荒内・寺田塚本地区土地区画整理事業 (城陽市)

**全区画進出予定**

◆ 土地区画整理事業の状況

久世荒内・寺田塚本地区土地区画整理事業※実施中  
※H29年度完成予定

城陽JCT・IC直近の好立地企業進出を後押し

全12区画全てで企業立地が決定※  
※H29.3現在

**新たな雇用創出**  
出典) 城陽市資料

● 日本郵便株式会社  
日本郵便輸送株式会社の概要

- 敷地面積: 約50,000㎡ (2社合計)
- 予定雇用者数: 約1,000人 (うち地場雇用者数百名)
- 京都府内と滋賀県の郵便物を集約、仕分けを行うハブ局

高速道路開通を見越し大型物流拠点を整備

凡例

- 黄色: 進出企業決定区画
- 黒色: 進出企業未決定区画
- 青色: 土地所有者利用区画
- 点線: 土地区画整理事業範囲

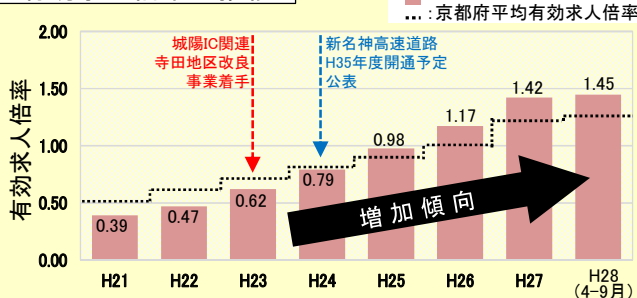
\* 航空写真: 国土地理院WEBサイトより

新名神が整備されることに伴い、市では土地区画整理事業を実施しています。  
企業が進出することにより**約1,700人の新たな雇用**が生まれること見込んでおり、今後の**地域の発展に繋がると期待**しています。

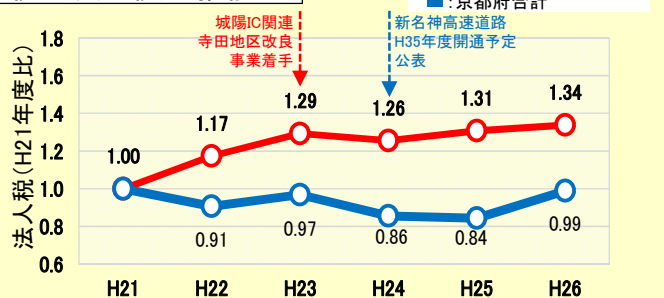


出典: 城陽市ヒアリング

### 有効求人倍率の推移



### 税収(法人税)の推移



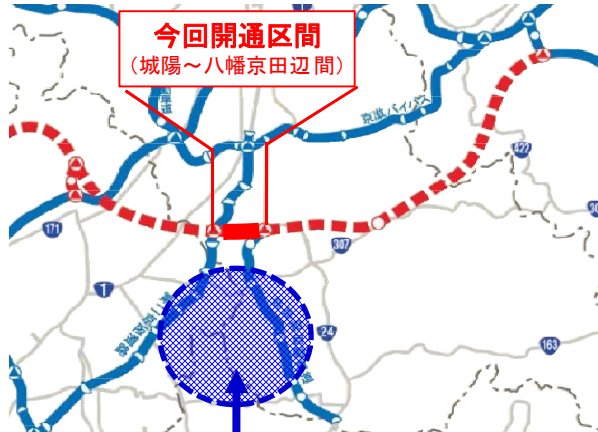
# 整備効果④ 関西文化学術研究都市の活性化

別紙4

・高速道路の整備により、**関西文化学術研究都市への研究機関や企業の進出が進んでいます。**

・城陽～八幡京田辺間の開通により学研都市のアクセス向上が図られ、通勤通学が便利になるほか、**京都駅と直結する高速バス路線の経路としての活用も期待されます。**

## 開発地区への企業進出に貢献



関西文化学術研究都市

京都・大阪・奈良の3府県にまたがる京阪奈丘陵において、国際的、学際的、業際的な文化・学術・研究の新たな展開の拠点づくりを目指す国家プロジェクトとして都市建設が進められている。

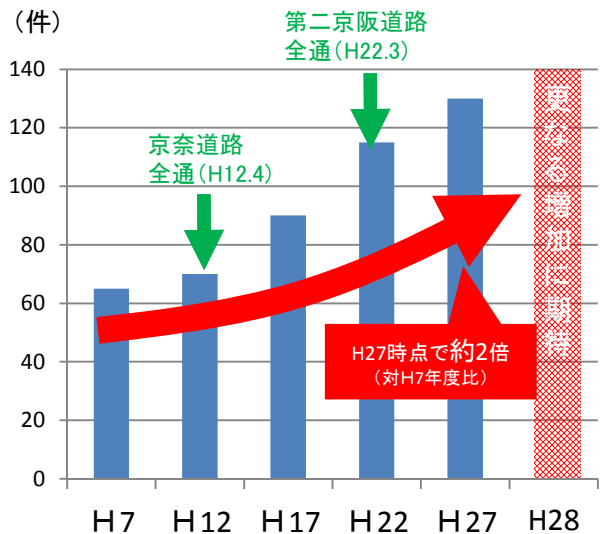


<立地施設一例>

- ・(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 出典: 関西文化学術研究都市HP
- ・国立国会図書館 関西館

## 【 関西文化学術研究都市の施設立地の推移 】

### 高速道路整備が進むにつれ増加



出典: 関西文化学術研究都市推進機構提供データ

## バス事業者の企業活動を支援



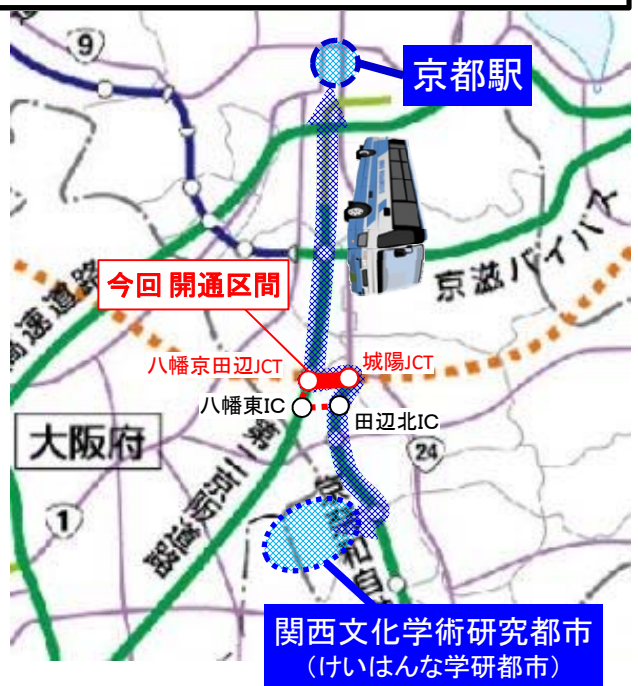
**時間短縮の費用対効果も高く、城陽～八幡京田辺の開通を機に、京都駅と関西文化学術研究都市を直通する路線バスの運行経路としての活用を検討予定です。**

出典: 企業ヒアリング (バス運行会社)

### 【 現在の路線バス概要 】

- ・京都府による実証実験での運行
- ・運行事業者 京阪バス(株)・奈良交通(株)
- ・運行区間 京都駅 ⇄ けいはんな学研都市地域
- ・便数 1日4往復(平日のみ運行)
- ・経路 第二京阪八幡東IC～京奈道路田辺北IC間は一般道を経由

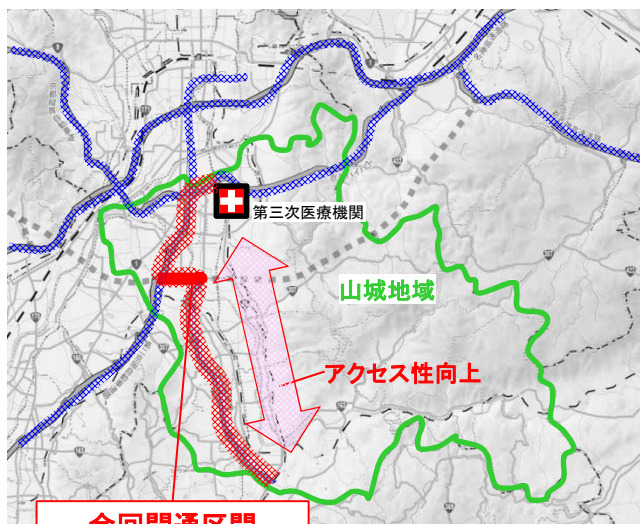
※ 実証運行は平成29年9月30日迄の予定



# 整備効果⑤ 救急・災害医療活動への貢献

- ・城陽～八幡京田辺間の開通により、山城地域における唯一の**第三次医療機関へのアクセス性が向上**し、高速道路走行による**患者への負担軽減につながります**。
- ・大規模災害時における災害拠点病院や災害派遣医療チーム(DMAT)の**機動性向上や連携強化が期待され、災害医療活動の信頼性が高まります**。

## 【第三次医療機関までのアクセス性の向上】



今回開通区間  
(城陽～八幡京田辺間)

※山城地域南部から、山城地域唯一の第三次医療機関までのアクセスが、最大約10分短縮される。

※ 第三次救急医療機関とは  
脳卒中、心筋こうそく、頭部外傷などの重篤患者へ対応するため、高度の診療機能を備え、24時間受け入れ体制可能な医療機関。

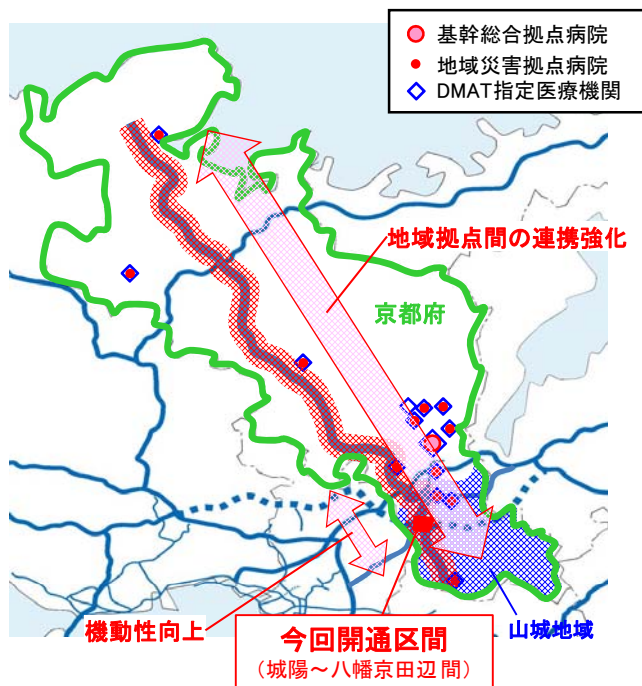
救急搬送において、**搬送時間はもちろんのこと走行時の安全性や快適性なども患者への負担や車内での応急処置に大きく影響します。**

新名神高速道路 城陽～八幡京田辺間が開通することで、京奈和道と第二京阪が直結し、搬送に活用できれば**搬送時間の短縮をはじめとして、救急活動に大きく貢献すると期待しています。**



出典：京奈道路沿線消防本部ヒアリング

## 【災害医療活動の迅速化や信頼性の向上】



※ 災害派遣医療チーム(DMAT)とは  
医師・看護師・業務調整委員で構成され、大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの現場で、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的訓練を受けた医療チーム  
(Disaster Medical Assistance Team)

## 【参考】沿道状況の違い

第二京阪道路(片側3車線・規制速度80km/h)



府道69号(片側1車線・規制速度40km/h)

